

8月17日 **沿道に花の植栽を行う団体へ支援金を交付**



リフレッシュ支援事業は2011年度から始まっており、今年度は計7市町村に支援金の交付が行われました

宮崎県治山林道協会は、地域活性化や自然環境の保全に取り組む団体に対して支援金を交付する「山村集落リフレッシュ支援事業」を行っており、串間市内の3団体へ支援金を贈りました。交付を受けたのは串間のみちを考える女性の会、まちづくり協議会「チーム本城」、中園花づくり会。市役所で贈呈式が行われ、同女性の会の齊藤チヅ子会長ら約10人が出席。同協会の直野恵一常務理事が「それぞれの活動に活用してもらえれば」とあいさつし支援金を手渡しました。齊藤会長は「大変ありがたい。花の苗購入などに活用していきたい」と話していました。

8月17日 **公民館夏休み講座で児童らが熱心に宿題に取り組む**



集中して夏休みの宿題に取り組む児童・生徒ら

小中学生の勉強をサポートする公民館夏休みチャレンジ講座「サマースクール」が市総合保健福祉センターで行われました。本講座は子どもたちが学習に集中して取り組める環境を提供しようと、市社会福祉協議会と市中央公民館主催で行われ、市内の児童・生徒ら約10人が参加。児童・生徒たちは持参した夏休みの宿題などに取り組み、分からない問題は講師を担当した生涯学習専門指導員に積極的に質問して答えを導き出していました。参加した福島小学校5年生の松田梨花さんは「講師の方に優しく教えてもらい宿題がはかどってよかった」と笑顔で話していました。

9月1日 **市内の交通死亡事故ゼロ545日達成に対して表彰**

本市は市内の交通死亡事故ゼロの期間が545日に達し、宮崎県交通安全対策推進本部より表彰を受けました。表彰基準は人口で異なり、本市は2020年2月11日～21年8月9日に交通死亡事故が発生せず、基準に達しました。市役所で行われた伝達式では県総合政策部の川越直海交通・地域安全対策監から市長へ表彰状を手渡しました。川越対策監は「積極的に交通安全対策を推進し、その功績は他の模範である」と話していました。



本市は2016年12月にも同表彰を受けており、2000年以降では11回目となります

8月6日 **福島高生が夏休みの宿題を指導**



算数の計算のヒントを教える福島高生

福島高校生徒が児童の勉強を教える「サマースクール」が福島小学校で行われました。児童の学力向上と学校間の連携強化を目的に5年前から開催されており、今回は教育学部などへの進路を希望する13人が参加。1～6年生の児童約70人の国語や算数などの夏休みの宿題を、問題の解き方やヒントを与えるなどして丁寧に指導していました。同小学校1年生の立本寛人くんは「優しく教えてもらい勉強が進んだのでよかった」と笑顔で話し、同高校1年生の内田千尋さんは「分かりやすく教えるのが難しかったが、児童と触れ合えて楽しかった」と話していました。

8月6日 **児童らがアニメ映画を通して人権について考える**

アニメ映画を通して人権の大切さについて考える「ふれあい映画祭」が市文化会館で行われました。8月の人権啓発強化月間の一環として開催され、市内の児童ら約20人が参加。映画祭では「自分の心を大切に、相手の心も大切に」など、人権の基本的な考え方をテーマにした映画「ココロ屋」と「すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」を上映。児童は人権について学んでいました。福島小学校3年生の松本芹奈ちゃんは「分かりやすく勉強になった。今後はみんなにもっと優しく接したい」と話していました。



映画祭は日南・串間地区の人権擁護委員から人権を守る大切さなどの話もありました

8月12日 **都井岬観光交流館指定管理者がPR動画を制作**

都井岬観光交流館「パカラパカ」の指定管理者である株式会社南郷包装は、同館のプロモーションビデオ(PV)を制作しました。PVは宮崎県のタレント2人のほか、島田市長、野生馬ガイド職員の計4人が出演。それぞれが野生馬になりきり、都井岬の魅力を面白おかしく紹介しています。同館で贈呈式が行われ、同社の川野純一社長から市長へ目録を贈呈。川野社長は「多くの方が都井岬を訪れるきっかけになればうれしい」と話していました。動画は同社および本市のYouTubeチャンネルで公開しています。



PVは今年の4月に撮影が行われ、編集期間などを経て8月に完成にこぎ着けました